

学校教育目標 自ら考え 豊かにかかわり合う 未来へつながる子どもの育成

「6ねんせいがやさしくてすごかった、いっしょにあそべたのしかった」 蛍明なかよしウォーク 5月2日

前日の雨が上がり、五月晴れの気持ちのよい天候となった2日、なかよしウォーク（全校遠足）を行いました。近水園までの往復4.2kmを縦割り班ごとに歩きました。足守川の瀬音を聞き、川にヌートリアや亀を見つけながら歩くとあっという間に近水園に到着しました。

足守陣屋跡に着いて、まず、1年生を迎える会が始まりました。1年生1人ひとりが、全校児童の前で、名前と好きなもの（動物やキャラクターなど）を発表し、「人数集め」と

「猛獣狩り」のゲームを全校で楽しみました。

次は、この1年、様々な場面で一緒に活動する縦割り班で輪になって「フラフープ通し」ゲームです。約12人が手をつないだ輪をフラフープを通す速さを競います。どうしたら早く一周させることができるかを班のみんなで考えて、2回戦は1番になった班には驚きました。お弁当をおいしくいただいて休憩した後、帰路につきました。

到着式の後、午後は、1・6年、2・4年、3・5年で、上学年の考えた遊びで交流をさらに深めました。

足守陣屋跡の背後、宮地山に広がる新緑、薫風がそよぐ音、鳥の鳴き声・・・校外に出て、歩いたからこそ感じられる自然のすばらしさを十分に味わうことができました。お弁当や持ち物の準備をありがとうございました。

全校遊びでは、いろいろな学年の笑顔を見て、悩んで話し合っ、ゲームをしてよかったと思った。自分の班の1年生じゃなくても困っていたら、助けたり、歩くときに1年生2人と手をつないでいたりして全校のために動いてよかったと思った。（6年生）

3年生が、1年生にだめなことや分からないことを教えていてとてもいいなと思いました。だからこそ、1から5年生を引っ張っていきたいなと思いました。（6年生）

わたしは、フラフープ送りをしたのが楽しかったです。1回も1位になれなかったけど、協力できたから他の学年とより仲が深まった感じがしました。またやりたいし、もし、やると決まったらどうやったら早くくぐる、わたすことができるかねばり強く考えようと思いました。（6年生）

「楽しくカルタができた」「次は、もっと話しかけよう」

4年生 総合的な学習の時間 「だれでもすみよい町づくりをしよう」 4月26日

4年生は、昨年度3年生のときに作成した「蛍明自まんカルタ」を使って、高齢者の方々と交流しました。今年度は、高田地区の高齢者サロン『たんぼぼサロン 山上しろみて』のみなさんと1年間交流をしていきます。当日は、たんぼぼサロンのみなさん6人、あしもり居宅サービスセンターからお2人、足守公民館職員の森原さん、地域学校協働活動推進員の鳥取さん、三田さんをお迎えして一緒に活動しました。介護支援専門員の方から、介護支援の仕事について、また、たんぼぼサロンの林さんからサロンの活動について説明をしていただいた後、いよいよグループに分かれてカルタ遊びが始まりました。児童が読み札を読み、絵札が取られた後、作成したカルタの説明をしました。カルタにこめた思いや蛍明学区の自慢についてみんなで理解を深めました。

1時間の短い時間でしたが、たんぼぼサロンの方々は口々に「楽しかった」と言ってくださり、中には同じグループの児童の名前を覚えてくださった方もおられました。

児童の振り返りには、高齢者の方々と触れ合っただけで感じたことや気付いたことがたくさん書かれていました。次の交流に生かしていくことができるでしょう。

読み札の最初の文字をはっきり言うといいと思った。

高齢者の人は、聞こえにくいことがあるから、耳もとでしっかり言わないといけないとわかった。

カルタの文字を大きく書いた方がよい。わかりやすい絵をかけたほうがよい。



「お米は自分で自分のエネルギー（デンプン）を作っていた、すごい。」 5年生 総合的な学習の時間

「すごいぞ米パワー」もみまき 5月13日

5年生は、地域学校協働活動推進員の三田善雄さんの田んぼをお借りして、米作りを行います。最初は、もみまき体験です。種籾をまく前に、発芽のメカニズムやもみまきの前にする工夫（塩水選や温湯消毒など）を教えてくださいました。そして、種籾を苗箱の土の上にまき、機械で上から土をかけました。その後、田植え前の田んぼの準備として、くわやトラクターで田を耕す作業を見学しました。耕した後の土のふかふか具合もわかりました。6月には田植えをし、収穫まで様々な体験や探究をしていきます。どんな学びになるか楽しみです。

たねもみから、2本ひもみみたいなのがついていて、どっちも芽だと思っていたけど、1本は芽で2本目は根だと知って、芽と根は近いことがわかった。

たねもみは、土の中でどんなふうに育つのかな。もみが重なりすぎたらどうなるんだろう。

昔は、機械ではなく手でたがやっていたから大変だと思った。

